

生活圏の戦跡をめぐって

私の住む習志野市は、かつて鉄道連隊、騎兵連隊、演習場、捕虜収容所などの施設が広く存在していました。現在、その跡地は自衛隊の駐屯地や演習場(現在船橋市)のほか、東邦大学、日本大学、千葉工業大学などにもなっており、多くの碑も残されています。関東大震災では、習志野から出動した騎兵隊が、朝鮮人虐殺や亀戸事件に関与したという史実があります。千葉工業大学に姿をかえた陸軍鉄道連隊第3大隊は、現在の新京成線敷地内を演習線とし、敷設や運転演習をおこなったため、線路は故意に曲げられたといわれています。新京成線はいまも当時のカーブをそのままに、急なカーブを轟音をたてながら走っています。



陸軍鉄道連隊第3大隊兵舎表門として使用されていた現在の大学正門(登録有形文化財)